

都市計画施設の整備4 連続立体交差事業(都市高速鉄道)

JR松山駅付近連続立体交差事業

愛媛県では、JR松山駅付近連続立体交差事業により、8箇所の踏切を除却し、交通渋滞、踏切事故及び市街地分断の解消を図るとともに、松山駅西口南江戸線の街路整備や、松山市が実施する土地区画整理事業と連携して、駅周辺の一体的な整備に取り組んでおり、県都の陸の玄関口にふさわしい魅力あるまちづくりを目指しています。

事業箇所全体図



現在のJR松山駅周辺の課題



連続立体交差事業、土地区画整理事業、街路事業による一体的整備

完成後のJR松山駅周辺のイメージ図



整備後の効果



都市内交通の円滑化

- 踏切遮断による渋滞の解消
踏切通過交通量
〔車両:約3万台/日
自歩行者:約1.6万台・人/日〕
- 踏切事故の解消
8件(H9以降)
- 地域分断による一体的発展の障害の解消

駅西側地区の利便性向上

- 駅西側(空港・港)からのアクセス向上
- 西口駅前広場整備による交通結節点の機能強化
- 環境・景観に配慮した住環境整備による集住促進
- 駅西地区の活性化



交通機関の快適な利用

- 駅のバリアフリー化、公共空間の再配分による移動円滑化、安全性、利便性の向上

賑わいと活力あるまちづくりの推進

- 高架下空間の有効活用(商業施設、駐輪場等)による交流人口の増加
- 賑わいの場創出による民間投資の誘発、回遊性の向上
- 駅を中心とした活力あるまちづくりの推進